

経営比較分析表

京都府 与謝野町

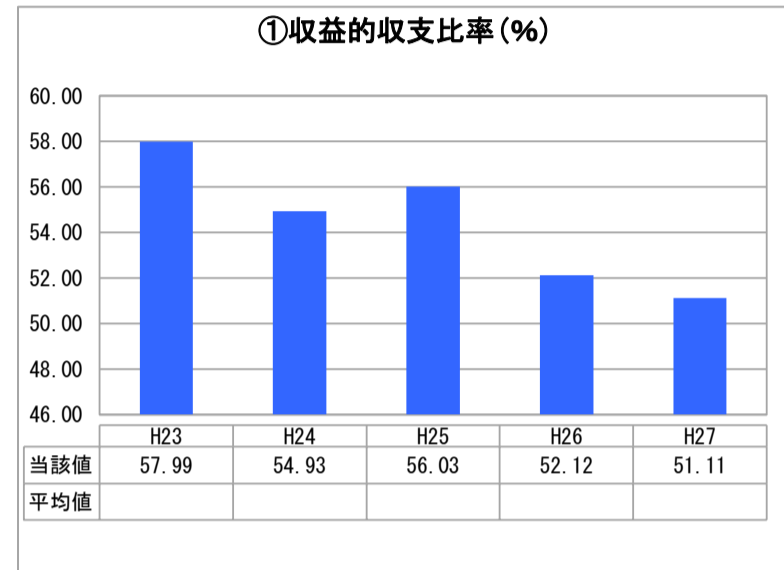
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	25.83	97.04

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,966	108.38	211.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,884	2.17	2,711.52

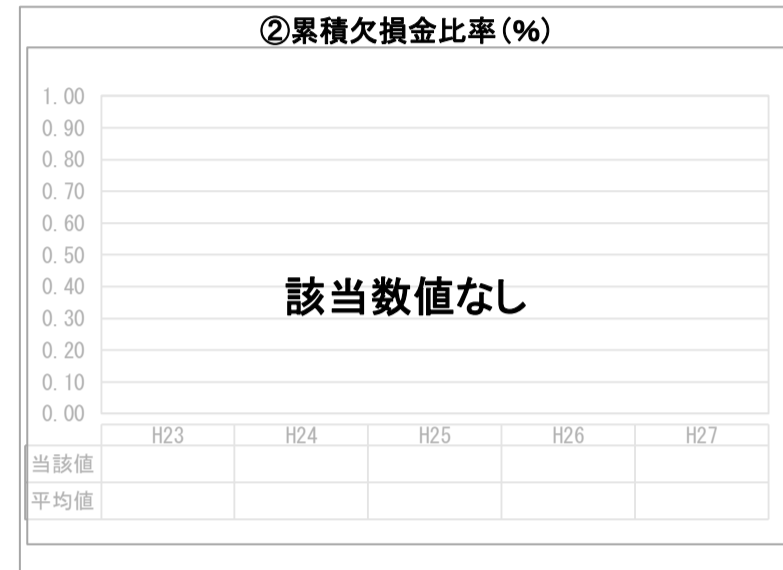
1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
2,468

グラフ凡例
 ■ 当該団体値(当該値)
 — 類似団体平均値(平均値)
 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



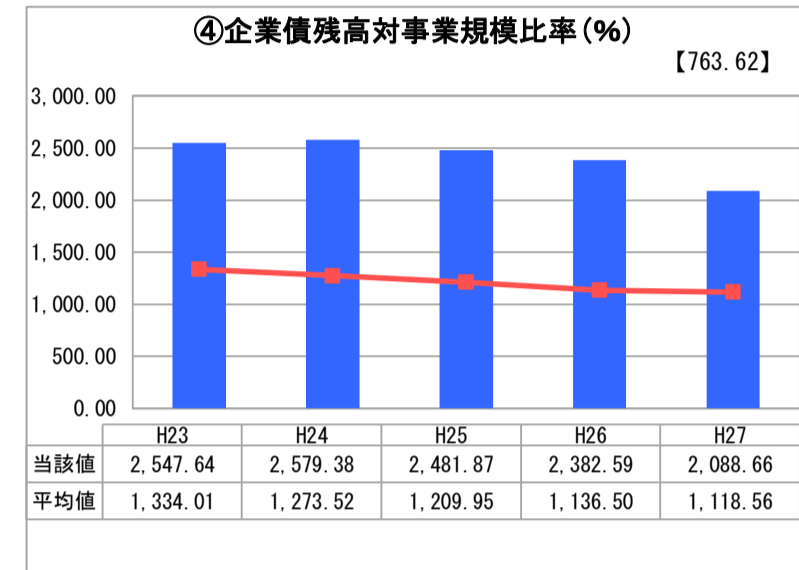
「単年度の収支」



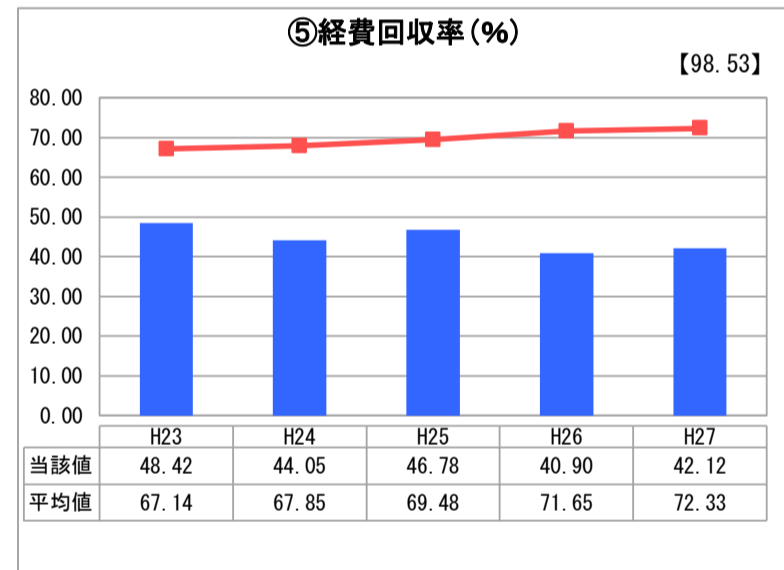
「累積欠損」



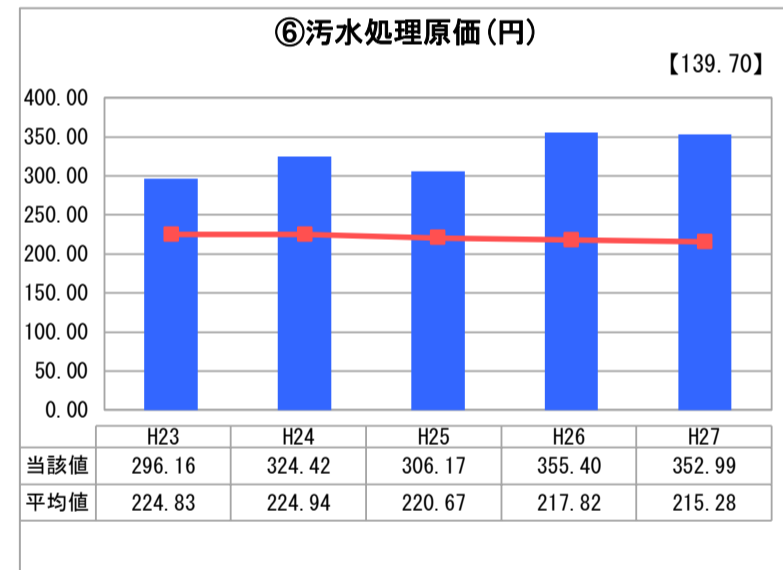
「支払能力」



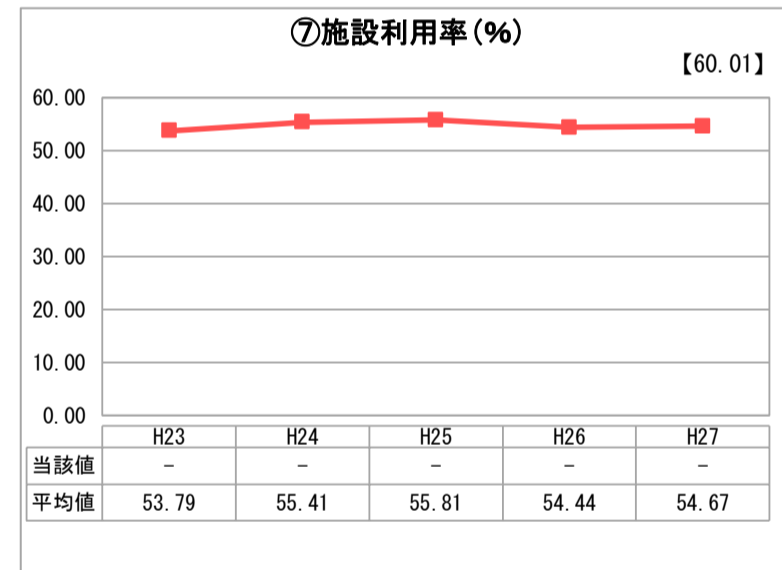
「債務残高」



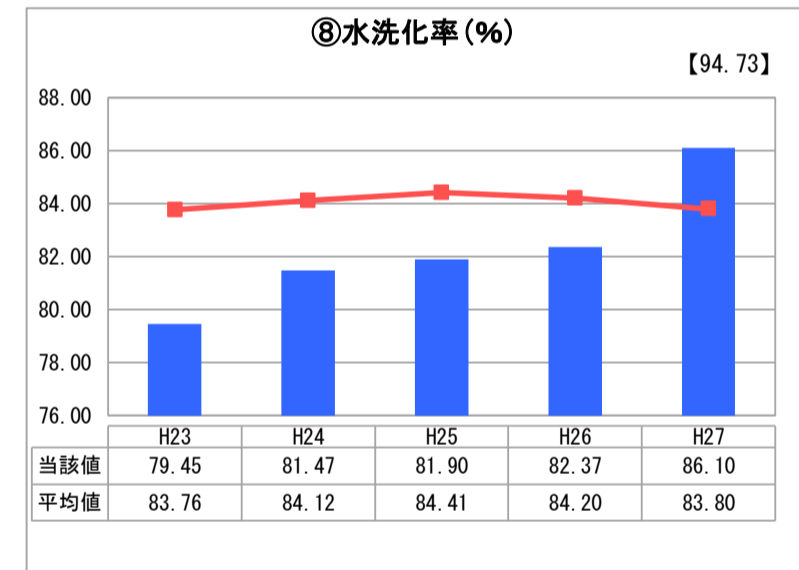
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

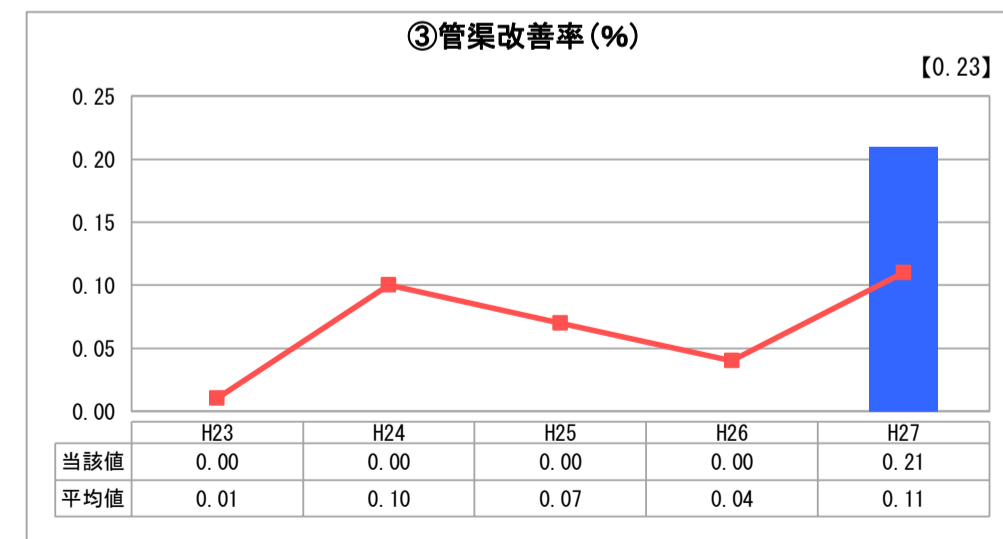
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

与謝野町の公共下水道事業は、収益的収支比率が100%を大幅に下回っていることや、類似団体と比較して、企業債残高対事業規模比率が高く、経費回収率が低い等、効率の悪い経営となっています。これらの要因は、処理区域内人口一人当たりの投資額が多いことや、平成6年度の供用開始以来一度も使用料改訂を実施していないことに加え、平成18年の3町合併時に使用料を一番低い町に統一したことが考えられます。よって、経営の健全性、効率化の向上を図るために、未接続世帯等への文書による下水道接続依頼及び戸別訪問を実施するなどの水洗化普及活動に尽力し、水洗化人口の増加による「経営の効率性」の向上を目指します。また、当町は流域下水道であり、京都府が処理場の運営を実施していますが、すでに包括的民間委託を実施されており、これ以上の経費削減は困難な状況であることを考慮し、今後は適正な使用料とするため、計画的に使用料の値上げを実施し、「経営の健全性」の向上に努めていきたいと思っております。

2. 老朽化の状況について

事業開始当初の管渠施工工事から約30年を経過し、今後は不意の修繕、改良及び更新にも対応していかなければならない可能性を考慮し、管渠の老朽化状況について十分な注意をはらっていく必要があります。

全体総括

- 適正な料金設定
 - ・計画的な使用料の値上げの実施
- 水洗化率の向上
 - ・未接続世帯等への戸別訪問の実施
 - ・未接続世帯等への文書による啓発の実施

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。